

JR総連青年協議会情報

第1号

2023年2月7日
発行責任者 宮下 洋介

2023JR 総連春闘スローガンについて

- ・物価上昇と組合員の生活実態に基づく賃上げ要求獲得 統一要求・統一闘争で2023JR 総連春闘を勝利しよう！
- ・組合員の声を要求に高め「安全・健康・ゆとり」を実現するために職場からたたかい抜こう！

2023JR 総連春闘具体的な要求について

- ・統一ペア要求「10,000円(物価上昇・生活向上分含む)」
- ・定昇がない単組は
賃金カーブ維持分「4,500円」+物価上昇・生活向上分「10,000円」を合わせた「14,500円」の賃金改善をめざす。

私たちを取り巻く情勢

私たちの【生活実感】



生活へ大打撃

2023年は、東北電力で「約33%の値上げ」が検討されており、東京電力や中部電力など大手電力会社も値上げを検討中…
また、1月～4月に値上げ予定されるものが7152品目となっている。

私たちの【実質賃金】

日本では、物価上昇に労働者の賃金が追いついておらず、実質賃金は2022年12月時点で、7ヶ月連続の減少となっています。

消費者物価指数
↑↑
実質賃金
↓↓



物価高に対する考え方と23春闘の展望

政



政府

- ・コロナ前の業績を回復した企業においては、3%以上の賃上げを実現していただきたい。

労



連合

- ・物価高、円安、コロナ禍の「三重苦」が生活を圧迫している。賃上げについてベースアップと定期昇給を合わせ、5%程度を要求としていく。

使



経団連

- ・物価を重視して賃上げに努力するのは企業の責務。一時給付でもいいが、できるだけベースアップを中心にやってほしい。

しかし！！

政府・連合・経団連の主張が「賃上げが必要だ」と一致しているように見えますが、その裏では「新しい資本主義」の加速として、生産性を高めるための「人への投資」「労働移動」が同時進行で狙われている事も忘れてはなりません。そもそも春闘とは、労働組合が会社に対して賃上げなどについて交渉を行うものであり、賃金の引き上げは労働組合がたたかい取るものです。

私たちの生活を豊かにしていくため、各単組と連帯・共闘をしながら「2023JR 総連春闘」勝利に向けてたたかい抜きましょう！